

子育ては楽し、家庭・地域・行政の連携

『生命を学ぶ』—自然体験教育の推進
世界トップの学力を目指す
多様な子育てニーズに応える—小児医療・保育・児童手当の充実
日本の伝統文化の振興

良福祉・中負担で安心の社会保障（裏面参照）

消費税の活用で医療年金介護の充実
家族の絆と地域が支える『日本型福祉』を
進めよう

太陽光発電、世界一を目指そう

公的助成と優遇税制、電力買い上げ制度
の充実
CO2削減に全力—人類の未来の
ために

農のある風景をいつまでも

地産地消、緑・防災教育への活用
都市農業を振興する

中小企業が地域を支える

金融支援をしっかりと、路線商業の振興
事業承継制度の充実、産学協同で技術開発

国を守る—防衛力の整備

中国の軍事費20年で20倍『備えよ、
そして信頼せよ』
ソマリア沖の海賊対策を!! 国際
協力活動の推進
北朝鮮の拉致・ミサイル・核問題
に全力

食の安全をはかる

消費者庁の創設、汚染食品は
監視強化でストップ
自給率向上で安心の食生活

治安・防災に力

地域安全対策基本法をつくり犯
罪を抑止
家具の転倒防止・耐震改修で震災に備
えよう



私は、武蔵野市長22年の経験を活か
し、「国政は地域にあり」をモットー
に全力を尽くしてまいりました。
4年間の実践を踏まえ、日本の目標
を掲げます。希望の未来に向かって、
力を合わせて歩みましょう。

上屋正忠

武蔵野市長22年の 経験を活かす



街頭遊説1100回達成!!!



国会レポート第11号

ブログ毎日更新中!!



◆プロフィール◆
昭和17年生まれ。都立武蔵高
校、早稲田大学法学部卒業。武蔵
野市職員、同市議を経て41歳で
武蔵野市長。6期22年の間に全
国のモデルとなった大胆な施策
を次々と実現。平成17年9月衆
議院議員初当選。平成18年、1
年目にして総務大臣政務官に就
任。夕張市再建チームリーダーや
頑張る地方応援プログラム創設
など、全国1800市町村を支援。
日本野鳥の会理事。

老後の医療は安心か？ 世界一の日本の医療制度を守ろう

土屋代議士 ある日の 街頭演説から

幸いな事に日本は世界一の長寿国となりました。

長く平和が続き、重労働から解放され、栄養や衛生状態が良いうえに医療制度が充実していることが主な要因です。これは世界に誇るべきことです。

同時に、急速な高齢化社会にともなう医療、年金、介護など社会保障費が増大しています。そのような給付水準を維持し、その費用はだれが負担すべきか、まさに曲がり角の日本です。

高齢者の割合は8%から21%に医療費は倍増

私は26年前に武蔵野市の市長になりましたが、当時、全人口に占める65歳以上の高齢者の割合は8%でした。現在では何と21%になり、3倍近くになっています。41歳の青年市長だった私も、今では65歳を超え、前期高齢者になりました。

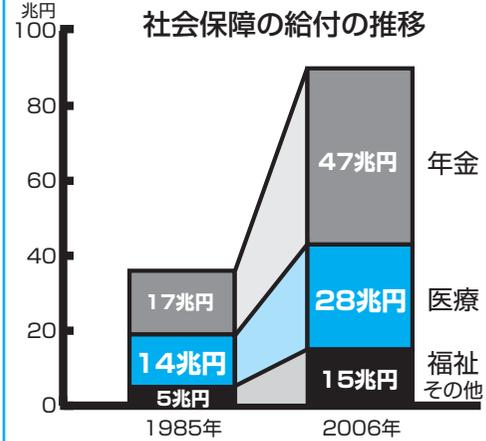
これにもなると、医療費も倍増しています。1985年と2006年を比較すると、14兆円の医療費が28兆円となり、現在では30兆円を超えています。

これらの大きな変化に対応して、時には、現役世代の一部負担金の割合を1割から3割に増やしたり、国の補助金を適正化したり、様々な医療制度の改革が行われてきました。

長寿医療は改革の環

昨年4月からスタートした75歳以上の長寿医療制度は、その改革

20年間で医療費は倍増



の二環です。

これまでは、国民健康保険の赤字が全国で2兆円を超え、このままでは財政がパンクするという声が市町村長から上がりました。また会社員や公務員が加入している医療保険からは、旧来の老人保健制度に対する拠出金が多すぎる、どこまでいくのか、という指摘もありました。

そこで、雇用主の企業代表、労働組合の代表、医者、市町村長、病院経営者、大学教授などの関係者が入って、10年近く議論した結果が長寿医療制度なのです。

制度の説明が不足して、国民の皆さんからのお叱りも多いのですが、良い点もたくさんあります。

保険証一枚でも病院にかかれます



第二に、財源内訳で加入者負担

が8%ですむことです。第二に、現役世代からの支援金も40%と明快に固定しました。残りは、税など公費が52%です。もちろん保険証一枚でいつでもどこでも病院にかかれます。こういうことも、テレビで言っただけですね。

外国の医療制度は？

私たちがあまり意識していないことですが、日本の

医療制度

は世界一だと言われていると思います。アメリカと比較すればはつきりします。アメリカには公的な医療保険制度がなく、民間の保険会社が医療保険を経営しています。NHKの報道で、イ



ンタビューされた女性が「保険料が月額14万円で、払いきれないと語っていました。2億9千万人のアメリカ国民のうち、医療保険に入っていない人は5000万人と知られています。

イギリスの医療制度は税でやっていますが、日本のようにいつでもどこでもかかれるわけではなく、どこでもかかりつけ医制度になっていないので、まずかかりつけ医に診断してもらい、病院にかかることができるかどうか決めてもらうのです。日本のように保険証だけでこの医療機関にもかかれるわけではありません。

医療財源はどのくらいあるのか？

しかし、日本の医療も曲がり角です。小児科や産科医の不足、勤務医のオーバーワーク、救急医療などの問題もあります。

世界最高水準と言われる日本の医療制度を守るには、まず財源の確保が重要です。医療費の削減はもう限界です。救急医療や小児科・産科の充実など政策医療と

地域の力
つくる日本

して取り組まなければなりません。また、長寿医療の保険料減免にも財源が必要です。近い将来、社会保障制度の財源に、いずれ消費税論議は避けられません。

国家財政は医療・保険・年金・介護等の社会保障制度をはじめ、子育て・教育、農業、街づくり、外交、防衛など今日の行政水準で毎年5兆円の赤字です。後の世代にツケを残さないことが我々の世代の責任でもあります。高福祉・低負担はあり得ません。社会保障制度を安定的に維持・発展させるためにも、受益と負担のバランスを考えていかななくてはなりません。医療・介護に加えて、家族の絆と地域が支える「日本型福祉」を進めましょう。

長年社会のために尽くしてこられた方々が、安心してかかれる医療制度を全国民で支えていきたいと思います。そして、若い世代が未来に希望を持って力強く進むことが出来る日本をつくりましょう。

日本の消費税率は 先進国の中で最も低い

<消費税率の国際比較>

国	消費税率	国	消費税率
日本	5%	ドイツ	19%
アメリカ	※	フランス	19.6%
イギリス	17.5%	スウェーデン	25%

※アメリカは、州、郡、市により小売売上税が課されている。(例:ニューヨーク市8.375%)

出典:財務省「消費税など(消費課税)に関する資料(平成20年5月現在)」